行くだけじゃ面白くない！

大人の「ひねり旅」指南

第2回

ゆっくり…レベルアップ… 夢実現… 充実旅「ロングステイ」

DiTHi（ディシィ）代表
観光ホスピタリティコンサルタント
石田 宜久
URL　http://www.dithi.net
E-mail　info.contact@dithi.net

「日常生活を異日常空間で過ごしたい」普段、仕事に忙殺されていると、なんとなくそんなことに憧れを抱きます。最近ではアベノミクス効果や年金を活用して、ロングステイがいかに快適で簡単にできるかが書かれた書籍やウェブサイト、広告が出回っています。

しかし、これに限ったことではありませんが、ロングステイにも向き不向きがあるもので個人差が存在します。10年の留学経験がある筆者が「私はこうして楽しんでます！」と言う人の話を聞くに、それ以前に海外生活があったり、長期の海外出張などの経験がある人がほとんどです。それでも連載2回目にロングステイをテーマとして取り上げました。今回は構えることなく、「旅のスタイル」として楽しんでいただけるロングステイをご紹介します。

ロングステイとは

ロングステイとは、生活拠点を今現在、不自由なく生活している拠点以外の場所で1週間以上生活することを意味します。世間一般に言われている、移住や、外国に渡る必要はまったくありません。

筆者はロングステイの定義として、**「点々と忙しく移動するのではなく、一ヶ所滞在を中心とした余暇を楽しむ旅のスタイル」**と、観光ホスピタリティコンサルタントの業務上からも皆様にお伝えしています。冒頭にも記したように、日常を異日常空間で過ごすことが目的であり、住んだり働いたりすることはロングステイとは別物と考えてください。

ロングステイは4つの型に分けることができます（図1）。この4つの型からもお分かり頂けるように、人生を振り返ったり、やりたかったことなどに挑戦したりなど、いろんな過ごし方が可能な環境に行くのが、充実旅のスタイルであるロングステイなのです。

ロングステイの目的を明確に

一言でロングステイと言っても内容はどれも個性的で違いが見られます。そこで、まずは

①そこで何を目的にするか？
②どんな時間を送りたいか？

この2点をしっかりと計画しましょう。

例を挙げるならば、避暑地で有名な軽井沢。暑い夏には少しでも涼しい空気を求める人たちで大にぎわいです。そこで何をしましょう。アウトレットモールでショッピング、ハイキング、釣り、あるいはホテルのラウンジでゆっくり読書もいいかもしれません。

しかし、涼しい環境を目的に軽井沢へ行き、ビーチでドリンク片

図1　ロングステイの4つの型

自己レベルアップ	リフレッシュ
新たな発見を求めたり、趣味や特技を本場で身に付けたり、学び、自分自身をレベルアップさせる事が目標	休暇を主な目的に心身ともにリフレッシュを求めるタイプ。自分自身を見つめ、生きがいを見出すキッカケ作りにも?
自己活用	**自己実現**
これまで培ってきた経験や技術を活用する事で奉仕活動を目的とするタイプで、交流が一番しやすい	日常から離れる事で、今までには体験・実現できなかった事を実行する事を目的にし、「夢」を実現・挑戦する

手に日焼けを楽しむような時間は過ごせません。また、せっかく涼しい環境に移っているのに、エアコンを利かせた室内にこもっているのももったいない過ごし方です。まずはしっかりと、目的を明確にすることが充実したロングステイのキーポイントになります。「じっくり何かしたい」を可能にしてくれる地域選びが大切です。

充実したロングステイにするために、今回は3つの方法をご紹介します。ポピュラーな3つですが、始めるには良いポイントですので、参考にしてみてください。

ホテルや旅館でロングステイ

宿と最低限の食事が確保できるのが、ホテルや旅館を目的にしたロングステイプランです。よくあるのは、5泊～1週間以上の予約で1泊料金が2千～5千円程度に割引になるもの、あるいは、エステやレストラン利用が条件となって、○○%引きというプランです。いずれにしても、1泊単位で予約を取るよりも、はるかに安くホテルや旅館に泊まることが可能になります。

このタイプでは、基本的にはリフレッシュが目的となるので「とにかくのんびりしたい」と言う人にはお勧めです。中にはゴルフ場の利用やプールの利用がプランに含まれ、また、海外にはプライベートビーチまでついているプランもあり、楽しまれる人には良いかと思います。

少し玄人向けのホテル・旅館でのロングステイをご紹介しましょう。「バケーションオーナーズ」というシステムをご存知でしょうか？一昔には「タイムシェア」という言い方をしていました。少々初期費用と管理費がかかりますが、イメージ的にはホテルや旅館、リゾートの一室が自分の別荘になるとお考えください。

主なプログラムとしては、

- ヒルトン・グランドバケーション
- マリオット・バケーションクラブ
- ディズニー・バケーションクラブ

などが有名で、筆者もお勧めです。

なぜならば、宿泊した期間分のポイントがしっかりとたまるチェーン店特有のシステムで、そのポイントを利用して他の国や地域に滞在することもできます。ヒルトングループを例に挙げると、世界7千800か所以上の直営や提携リゾートすべてに自分の部屋を取得する感覚で利用できるのです。

プチ留学

せっかく自分が慣れ親しんだ地域から外に出るのであれば、そこで新たなるスキルを身に付け、自分自身をレベルアップさせるために時間を使うのも有効的です。特に近年では、年齢やステージ、目的に合わせた様々な学びの場があります。

留学というと、「海外での学び」「語学力が必要なのでは」と思われてしまいますが、これは勘違いです。年齢層に関係なく、退職者などのシニア留学を始め、キャリアアップを目的とした社会人留学も近年増えています。

また、ガーデニングや料理、スポーツを本場で極めることを目的としたり、国際ライセンス取得を目的としたりと、留学する目的も多層化し、主婦や子連れ留学も増加傾向にあります。

そんな留学で、著者がぜひ一緒に合わせて経験をしてほしいのがホームステイです。経験豊かな大人だからこそ深い交流ができると、最近では、大人のホームステイを支援する会社やプログラムが存在します。これまで若い人の滞在スタイルと考えられてきましたが、ホストファミリーも同世代と

<バケーションオーナーズ／タイムシェアとは>

リゾート施設やホテル、コンドミニアム物件の1部屋を1年52週に分割し、その所有権を1週間単位で購入するシステムです。つまり、リゾート施設やホテルの1室を不動産所有する権利を得る事です。

別荘を購入するような高額な費用も、使わない期間の維持管理費も要りません。所有する期間分の維持管理費のみで、清掃や各種手配の心配も必要ないのです。また永代所有権という事になるので、相続や贈与の対象になり、所有している地域や国に正式に登記され、所有権利書を取得する事が可能です。

盛りだくさんのファームステイ「ファームイントント」（北海道）

北海道美深町仁宇布地区にある「松山農場」。そこに、当地区唯一の宿として「ファームイントント」があります。白樺林に囲まれた隠れ家的ロケーションで、交通の便は良いとは言えませんが、まさに北海道の大自然を満喫できる宿です。かなりの穴場であり、近くには、日本最北のびふか松山湿原が広がり、静かな釣りが楽しめる小川が流れ、夜には満天の星空の流れ星に願いを託し…。

また、ファームステイだからこそ体験できる、乳しぼりや農場実習はもちろん、白樺樹液採取や白樺皮細工なども学べます。周辺観光としては、天塩川でのカヌー他、松山農場で育てられた羊肉のジンギスカンや羊のミルクから作られるアイスクリームに舌鼓を打つこと間違いありません。北北海道の文化・芸術・味の三拍子に加え、農場体験まで出来る、ロングステイにはピッタリのファームステイ宿です。一度行くと、必ずリピーターになってしまいます。

「在留して学ぶ」ことが留学！自分磨き的留学のすすめ

●正規留学

高校や大学、大学院に入学する留学。社会人としてもキャリアアップのために、大学院留学やMBA取得を目指した留学があります。その分、語学力を求められるので、語学試験のスコアを取ることが高いハードルとなります。

●語学留学

観光ビザ有効期間である３カ月程度で終わらせる短期留学から、学生ビザを取得し長期にわたり現地の言葉に浸るなど、集中的に語学を学ぶことを目的とした留学。学校によっては母国語厳禁などのルールを設ける反面、非常に多くの多国籍化環境を楽しめ、世界中に知り合いを作ることも夢ではありません。時期に関係なく入学できるのが長所です。

●おけいこ留学

専門学校で国際ライセンスや学位を習得することを主な目的とします。最近では、ゴルフやテニス、スキーなど、趣味を極めるために環境を求め、専修する留学もあります。また、英国やカナダでガーデニング、フランスやイタリアで料理、ハワイでウクレレやフラダンスを習うなど、本場で趣味性の高い教室に通うための留学もあります。近年では珍しいことでなく多くの日本人がトライしています。

●国内留学

国内留学と言うと「山村留学」や「内地留学」というイメージが先走りますが、現代の解釈ではこれも学び、経験を積む立派な留学のスタイルです。筆者が以前参加したプロジェクトに、国内ファームステイというのがあります。わざわざ遠くの国に出向くよりも、北海道の雄大な牧場でのファームステイも大変貴重な体験となります。また、沖縄では、琉球語を学ぶ語学留学もできます。国内留学は、これからその可能性が大きく広がる分野であると考えられます。

なるケースが多くなり、行く側も迎える側も共に熟年層のホームステイが静かな人気です。

一般家庭に泊まるだけではなく、語学教師の家庭に滞在するタイプや家族丸ごとホームステイ、農場や牧場を営む家庭に滞在するファームステイ。そしてベビーシッターや家事をお手伝いし、家庭で必要な労務をこなすことで費用を抑えるAu Pair（オーペア）というシステムもあります。

日本の生活とはずいぶん違い、戸惑うこともあるかもしれませんが、この経験は必ずご自身をレベルアップへと導いてくれることでしょう。

ボランティアでロングステイ

これまで積み重ねてきた自分の経験や体験が、地域・国際貢献につながるのがこのボランティアです。「ボランティアでロングステイ?」と思われるかもしれませんが、実は、多くの地域や国がボランティア活動を進めるべく政策を進めており、皆さんを待っている

のです。

平成23年度の内閣府の調査「高齢者の経済生活に関する意識調査結果」では、60歳以上の人で過去1年間に何らかのボランティア活動に参加したことがある人は、男性51・5％、女性43％とされています。また、経験者の上位を占めるのが「地域に関わる活動」です。地元地域での活動も素晴らしいですが、交流の幅を広めるという意味合いでは地元以外、あるいは国外に出てみることも、これまた経験です。

とはいえ、高度な専門的な技能や知識を求めるプロフェッショナルなものとは異なり、身近にできるものから始めることが大切です。「ロングステイもいいけど、趣味もなく、何をしたらよいかわからない」と言う人には、このボランティアをきっかけにしてみることをお勧めします。

中にはライフワークの一つにボランティアがあるという人もおり、多くの人たちとの交流を楽しんでいます。日本を代表する国際ボランティア団体に「JICA（ジャイカ）（国際協力機構）」があります。その中のプログラムの一つに、シニア海外ボランティアの派遣があり、世界的にも知られています。そこに従事する人たちの想いや動機は経歴と共に目を見張るものがあり、選考基準もハードルの高いものとなっていますが、一つの目標を設定して、経験を積み重ねていくのも楽しみです。

欲張ることが醍醐味

今回ご紹介したロングステイのスタイルは、そのほんの一部にしか過ぎず、もっと色々な楽しみ方が存在しています。あくまでもキッカケ作りとしてお伝えできればと思い解説させていただきました。ロングステイを希望する人が増えているためか、非常に多くの情報が書籍やインターネットを通して配信されていますが、あくまでも余暇ですので、自由時間を活用し、かつ、楽しむことを忘れないでください。

普段の生活、短期旅行ではなかなかできないこと、やりたいことを、ご夫婦やご家族、ご友人と、とにかく欲張って実行してみることがロングステイの醍醐味です。最後に、ご自身がロングステイに向いているのかがわかるチェックシートを作成しましたので、まずはこれで自己診断をしてください（図2）。

次回は、「ゆっくりしたいけど一か所に留まるのはやはり抵抗がある」と思われる人にピッタリ。豪快に楽しむ、これぞ大人旅と言える「移動式の旅」を取り上げますのでお楽しみに。

図2　ロングステイ自己診断12の質問

1 英語は得意・興味がある	□
2 一人旅は平気である	□
3 海外旅行経験が5回以上ある	□
4 海外生活経験がある	□
5 人見知りはしない	□
6 異文化交流に興味がある	□
7 特に打ち込んでいる趣味がある	□
8 スケジュール通りでなくてもイライラしない	□
9 個人で旅行手配経験がある	□
10 多少の衛生面の問題は気にならない	□
11 特に健康面で問題がない	□
12 パソコン・インターネットの利用に不自由はない	□

- **チェック8個以上** …… 国内外問わず積極的なロングステイを楽しめます。ぜひ行ってみてください。
- **チェック5〜7個** …… 海外でも問題なくロングステイを楽しめます。あまり攻め過ぎずに、有名どころから始めましょう。
- **チェック3〜4個** …… まずは国内から始めてみましょう。ホテルや旅館のロングステイプランを活用してみるといいです。
- **チェック0〜2個** …… 旅行会社のロングステイパッケージなら、困ってもすぐに助けも呼べるので慣れていなくても大丈夫です。